

新型コロナウイルス感染症対策マニュアル

◆ 大会参加におけるチームの対応・代表指導者の留意事項

代表指導者は、日常的に選手の体調管理や練習状況を把握するとともに、大会当日も無理のない大会参加に努めること。

① 大会参加時まで代表指導者が対応すべき事項

- 参加選手の活動状況を把握すること。
(継続的な練習が行えていない場合は、参加を見合わせること。)
- 新型コロナウイルス感染症に関するガイドラインの周知と保護者からの大会参加の同意を得ること。
- 消毒用アルコールと消毒用シートを準備し、大会当日持参させること。
- 感染症対策員を選任し、チームに帯同させる。

② 大会当日に確認すべき事項

- 参加選手・指導者・保護者の体調確認
 - 大会開催2週間以内に以下の症状がある場合は、大会に参加できない。
 - ① 平熱を超える発熱(概ね37.5℃以上)
 - ② だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - ③ 臭覚や味覚の異常
 - ④ 体が重く感じる、疲れやすい等
 - ⑤ 新型コロナウイルス感染症とされた方との濃厚接触が認められる場合
 - ⑥ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ⑦ 大会当日の過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等へ渡航または当該在住者と濃厚接触が認められる場合
 - 軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合は、大会に参加できない。

③ 大会当日の提出書類

代表指導者は、参加選手・指導者・保護者の体調を管理し、以下の内容が記載された書類を受付に提出すること。

【提出書類】 (指定書類)

- 大会参加に係る同意書
- 参加者名簿(選手・指導者・保護者)
- 健康チェックシート(選手・指導者・保護者)

④ 大会終了後

- 代表指導者は、大会終了後に主催者との連絡がとれるよう配慮すること。
- 大会終了後の参加者の体調を管理し、新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速や

かに宮城県指定のコールセンターおよび主催者に連絡すること。

対応については、「新型コロナウイルス感染症発症時の連絡体制」フローチャートを確認すること。

◆ 選手および指導者・感染症対策員・保護者の遵守事項

① 試合中の配慮事項

- 本ガイドラインの遵守に努めること。
- 感染拡大防止を考慮し、引率・応援は最小限の人数で対応するよう努めること。
- タオルや飲料水の共用はしないようにすること。
- 飲食については、指定場所(館内ギャラリー席)以外で行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。
- 声での声援を控え、拍手のみでの応援に心がけること。
通路等の場所取りや保護者同士のお茶のみ等を控えること。(休憩場所は館内ギャラリー席)
- 感染拡大防止のため主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- 他の参加者等との距離を確保するよう努めること。
- マスクを持参し、コート内の選手・主審・副審以外は、マスクの着用を遵守すること。
(競技を行っていない際や会話をする際は、マスクの着用)
- ミーティングは、なるべく距離をとり、大声を出すことなく短時間で行うこと。

② 感染症対策員のすべき事項

- 消毒用アルコールと消毒用シートをたえず持ち歩く。
- チームベンチに選手と一緒にいる。
- ゲームの中断時と終了時に選手へのアルコール消毒をする。
- ゲーム終了時に、ベンチ等の消毒を行う。

③ ゴミの廃棄

- ゴミは、原則、各自で持ち帰りとする。

【連絡先】

■ 宮城県健康電話相談口(コールセンター)

電話番号：022-211-3883 / 022-211-2882

受付時間：24時間対応

■ 公益財団法人宮城県スポーツ協会

宮城県スポーツ少年団

〒981-0122 宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1

電話番号：022-349-9656

FAX番号：022-356-8267

Email：miyagi-suposho@mspf.jp